

ほぼたきHP版

大分大学教育学部
附属小学校
平成29年10月4日



ぴりっと緊張 終業式↑と 始業式↓



9月29日は前期の終業式、3日間のお休みを経て10月3日には後期の始業式がありました。

本年度から本格的に前後期制になり、2年生から6年生までは、まだ慣れないと思いますが、式では代表の子どもたちや校長先生から前期を振り返って成長したことや残った課題をもとに後期頑張りたいことなどが出されました。

本校の大きな使命のひとつに教育実習がありますが、前後期制にすることで、学級や個人のめあてに対する評価とふり返りの姿と後期の学級のシステムづくり…めあてや係決めなどを実習の先生に見せることが出来るようになりました。

今、大分県だけでなく全国的に教員の大量退職と大量就職の時期にさしかかっております。その中で大きな課題になっているのが学級づくりと授業づくりです。それを見越してここ数年教育実習の内容を大きく見直してきましたが、若い先生は子どもたちとの出会い方や学級でのルール作りなどをどのようにしたらよいかを非常に苦慮されているようです。今回、前後期制で大きな節目のふり返りや学級のシステムづくりなどを見せることは実習の先生の学びにも貢献できるのではないかと思います。



後期に向けての話し合いの様子